

林業福島

No. 556

題字 福島県知事 佐藤雄平



12 2010

かんしゅう■福島県農林水産部
表紙の写真■里山の秋

第8回

うつくしま育樹祭開かれる

第8回うつくしま育樹祭は、11月13日、双葉郡川内村のいわなの郷で開かれ、秋空の下、約150名の参加者が森林整備に汗を流した。



緊張気味にのこぎりを



いっせいに育樹作業



玉切作業に熱中

《も く じ》

第8回うつくしま育樹祭開かれる……	1～2	普及指導員通信……………	7
県内における木質バイオマス利用の		木材市況・ふくしま東西南北……………	8
取組について……………	3～4	森連だより……………	9
県産木材を使った家づくりがよく分かる		◆ 木連だより……………	10
体験ツアー行われる……………	5	林協ニュース……………	11
山村を支える林道事業		2010年主要目次……………	12
富沢不動沢線……………	6	はなしのひろば……………	13



開 会 式

うつくしま育樹祭は、県民参加の森林づくりを一層推進しようと、開催地域の特色を活かしながら実施されている。双葉郡初めての開催で、会場となった川内村のいわなの郷は、広葉樹林に囲まれ、幻魚亭、釣堀、コテージ、体験交流館などの施設が整備されている。

午前10時から、体験交流館前で開会式が行われ、まず、斎藤卓夫緑化推進委員理事長が開会のことばを述べた。



施肥作業



こわごわと伐採

ついで、うつくしま育樹祭大会会長の県知事に代わって鈴木義仁農林水産部長が「森林を守り育て、次世代に引き継いでいってください」とあいさつ、続いて、地元の遠藤雄幸川内村長が「森の大切さや森を守る人の情熱を発信していこう」とあいさつした。

さらに、事務局から今日の日程や作業内容などの説明があった。



木工クラフト



自然観察

このあと、八班に分かれた参加者は、班ごとに、午前は育樹作業、午後は木工クラフトや自然観察の体験を行った。

また、鈴木部長や遠藤村長らが、子供たちといっしょに平成二十二年双葉地方植樹祭で植えられた広場の桜に施肥作業を行った。

県内における 木質バイオマス利用の取組について

県林業振興課

はじめに

近年、地球温暖化の問題が様々な場面で取り上げられるなか、再生可能なバイオマス資源利用への関心が高まってまいります。県土の約七割が森林に覆われた当県において木質バイオマスは身近で最も重要な資源の一つです。

今回は、県内における最近の木質バイオマスの利用の取組について紹介します。

○県産材フル活用に向けた取組

平成二二年三月に県が策定した新しい福島県農林水産業振興計画「いきいき ふくしま農林水産業振興プラン」では、県産材を建築用材からエネルギー利用まで「フル活用」を進めていくことが重点戦略のひとつとして掲げられました。

これは、森林施業により生産されるA材（良質材）、B材（曲がり材）、C材（根張り、小径木）、D材（枝葉、

梢端等）に至るまで形状が異なる各材を、それぞれ適した用途への活用を進め、木材全体の流通量を拡大し、森林所有者の利益確保や持続可能な林業の再生を図るといふものです。なかでも、これまでその多くが林内に放置されていたC材やD材を、バイオマス資源として利用を進めることとしています。

○木質バイオマスボイラーと利用量の増加

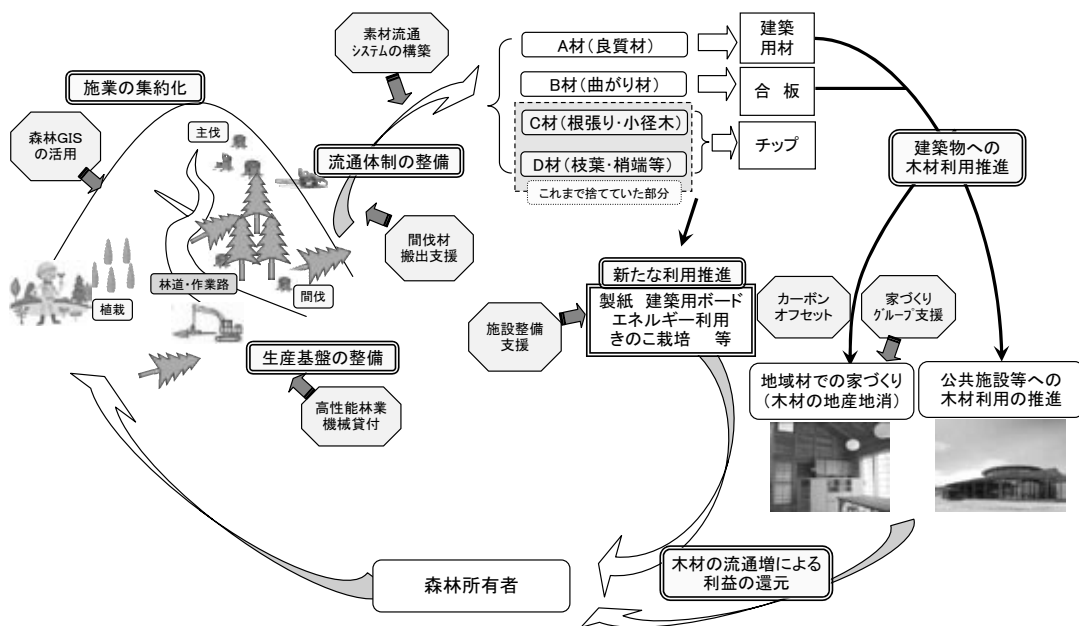
これまで、製材の際に発生する端材等を自ら製材工場内ボイラー用燃料として利用する事例は見られましたが、最近では木材産業以外の事業用発電に木質バイオマスボイラーを利用するケースがあり、使用する間伐材等の割合も増加しています。

また、公共施設等のボイラーに木質バイオマスを使用するものを導入するケースも増えていきます。ここ数年では、飯館村の特別養護老人ホーム「いいいたてホーム」（平成二〇年

度）や川内村「かわうちちの湯」（平成二二年度）、二本松市「名目津温泉」（平成二二年度）に木質チップボイラーが導入されました。これら二つの施設に共通する特徴としては、

地元の森林組合が生産した素材をチップに加工し、ボイラー用燃料として供給する体制がとられていることです。地域材を生産・加工・利用する木材の地産地消が行われてお

フル活用イメージ図



り、地域経済の活性化とともに、これからバイオマスボイラーの導入を検討する際の参考事例として他の自治体や民間事業者への波及効果が期待されます。

○福島県素材流通機構の設立とその役割

近年、国際的な木材需要の変化などを受け、合板等における国産材への原料転換やバイオマスエネルギーの利用量増大等により国産材の需要が高まっています。

今後、国内における燃料用チップや合板、集成材への利用などといった大口の木材需要の増加が見込まれるなか、それらに安定供給する体制の構築が求められていることから、木材需給情報の窓口的な役割を担う機関として、平成二十一年一〇月に県内七つの林業・木材関連団体を構成員とする福島県素材流通機構が設立されました。同機構は、広域的な流通情報の窓口として県内外の大口需要に関する情報収集はもちろん、需要側のニーズを供給側に提供し、品質と量を確保することで県産材の販路拡大を図り、「県産材フル活用」を進める核となる組織としてその役割が期待されています。

○森林整備加速化・林業再生基金事業による木質バイオマス利活用支援

国の経済対策の一環として平成二十一年度補正予算により取り組まれている森林整備加速化・林業再生基金事業において、間伐材等の搬出、加工、利用の取組に対し支援を行っています。このうち木質バイオマス供給・利用等に係る主な事業は次のとおりです。

- ・木材加工流通施設等整備事業
移動式木材破砕機等の木質バイオマスの供給施設整備の支援。
- ・間伐材安定供給コスト支援事業



移動式木材破砕機の導入

木質チップやペレットに加工する燃料用間伐材等の搬出・運搬経費の支援。

- ・木質バイオマス利用施設等整備事業

木質バイオマスボイラー等のバイオマス利用施設整備の支援。

○火力発電所での木質バイオマス混焼

平成二三年度から南相馬市の東北電力(株)原町火力発電所において木質バイオマス混焼が行われる計画が本年一月に発表されました。間伐材等を原料とする木質チップを年間約六万ト使用することにより石炭の使用量を削減し、温室効果ガスの排出を抑制する計画で、国産材の混焼発電施設としては国内最大級の木質バイオマス利用量となります。

なお、混焼する間伐材等の一部は隣接する宮城県から供給されますが、その多くは福島県素材流通機構が県内から供給する計画となっており、県内林業の活性化が期待されています。

○家庭や職場からの木質バイオマス利用

県では、県民の木質バイオマス利用への意識醸成を図ることを目的

に、平成一九年度から個人住宅や事業所等の民間施設へのペレットストーブ導入に対する助成を行い、平成二十一年度末まで一五〇台に対し補助が行われました。

ペレットストーブは、公共施設から個人所有まで含めると、平成二十一年度末現在、県内に六四四台が導入されており、環境に優しい暖房機器として県民の認知度も徐々に高まっています。

最後に

戦後植栽されたスギやヒノキ等の人工林の多くは、長引く木材価格の低迷により十分な活用が進んでいませんでしたが、環境問題や社会情勢の大きな追い風を受け、これら人工林より生産される木材の利活用が加速していくものと考えられます。

平成二十二年一〇月一日に施行された「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」においても、公共建築物の木造・木質化にとどまらず、木質バイオマス製品及びエネルギー利用を促進することを定めており、県といたしましても引き続き様々な施策を通じてこれらバイオマス利用の取組を進めていきます。

県産木材を使った家づくりがよく分かる体験ツアー行われる

県木材協同組合連合会主催の「県産木材を使った家づくりがよく分かる体験ツアー」が一月二五日、二名が参加して行われた。
午前九時三〇分、福島駅西口を出発したバスは、一路郡山へ。



集成材の説明を熱心に聞く



モデルハウスで木のぬくもりを体験



旧佐久間邸を見学

最初に訪れた藤蔭産業株式会社では、西村義一専務から集成材の特徴や利点などの説明をうけながら加工場を見学した。参加者は、太い柱や自在にカーブを作ることのできる技術や、集成材が幅広く利用できることに感心していた。
ついで、福島県木造技術開発協同組合のモデルハウス「ふくもくの家」を訪ねた。
集成材の柱をはじめ、県産ブランド材「とつてお木」を二〇〇％使用、木のぬくもりにあふれた家である。太陽熱エネルギーを蓄熱、給湯や床暖房に利用したエコシステムにも、



ふくもくの家

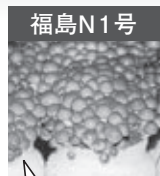


ふくしまの家「きなり」

関心が集まっていた。
再び、福島にもどり、今年福島市の新たな交流施設となった旧佐久間邸を見学した。公開にあたり補修に携わった菊地進さん等から説明を受け、築二七〇年の木造住宅である庄屋敷を興味深く見て回った。
続いて、ふくしま家づくりネットワークのモデルハウス「ふくしまの家きなり」を訪れ、川崎直竹会長と渡辺耕作副会長からお話を伺った。
林業家、製材所、建築士、大工・工務店が一体となった家づくりに取り組んでおり、地元産の無垢材を使用、在来軸組工法で建てられた、木の暖かさが感じられる家である。
参加者は、一日のツアーを通して、ふんだんに木を使った家は、落ち着く、ぬくもりが感じられると、木の良さを体感していた。また、熱心に質問をしたりして、木の家への理解を深めていた。

きのこで地域を元気に (財)福島県きのこ振興センター

●菌床栽培用ナメコ(登録品種)



福島N1号

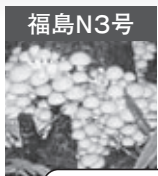
安定多収量



福島N2号

大型・滑り少

●原木栽培用ナメコ(登録品種)



福島N3号

コナラ原木で安定・多収量
食物繊維、ペクチン様物質豊富



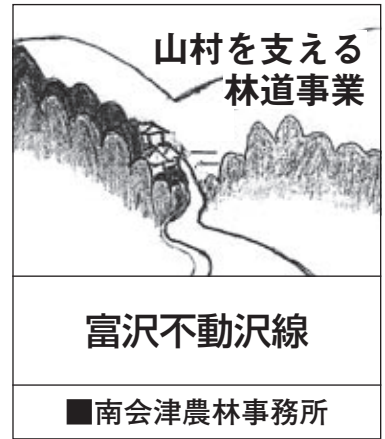
福島N4号

○その他各種種菌

○菌床 ・シイタケ
・ハタケシメジ
・ムラサキシメジ等

○マイタケホダ木 ○栽培資材

〒963-0112 郡山市安積町成田字西島坂7-2 Tel 024-947-2188 Fax 024-947-6926
E-mail: f-kinoko@mtj.biglobe.ne.jp URL: http://www.f-kinoko.org



○はじめに

「富沢不動沢線」は昭和五七年度に着工し、二九年の歳月をかけ平成二一年に全線の工事を完了しました。林道富沢不動沢線完成記念行事実行委員会主催により、九月三〇日に「完成式」が、一〇月三〇日には完成記念行事として「林道富沢不動沢線、河原崎城跡遊歩道散策」が開催されましたので、紹介します。

○路線の概要

富沢不動沢線は、南会津町和泉田字富沢を起点とし、南会津町和泉田字赤岩を終点とする全体延長九、七三七㍎、車道幅員三・〇㍎の二級規格林道で、利用区域面積は四五八㍎となっております。起点側は林道富沢線を経由して県道大倉大橋浜野線、終点側は町道和泉田一五六号線を経由し、県道大倉大橋浜野線と連絡するものです。

路線沿線には私有林のほか、県行

造林地や公社造林地があり、その豊かな森林資源は、森林整備、林業の振興、山村経済の活性化など、過疎地域における開発と地域産業の振興に寄与し、地域の振興を図るうえでも重要な役割を担う路線として期待されています。

○事業の経過

本林道事業は、昭和五七年度に旧南郷村が国庫補助事業により不動沢工区から着手しましたが、計画区間のうち最後の約一、〇〇〇㍎については、急峻な地形など厳しい自然条件のもと高度な技術が求められたことから、平成一七年度から過疎地域活性化特別措置法に基づく県の代行事業として実施してきました。昭和五七年～昭和六一年が普通林道事業、昭和六二年～平成一三年が林業地域総合整備事業、平成一四年が林道開設事業、平成一五年～平成一八年が

森林管理道整備事業、平成一九年～平成二一年が森林居住環境整備事業で実施するなど補助体系に沿った事業を展開した結果、総事業費は九億九、五〇〇万円となっております。

また、利用区域内の森林施業実績は九二一・八㍎であり、その内訳は主伐三六・三四㍎、間伐四一・三六㍎、造林三〇・三三㍎、下刈等の保育八一三・七七㍎となっております。

○完成式

完成式は九月三〇日にさゆり会館において、和泉田区、(株)星組、南会津町、南会津農林事務所から総数で一六名が出席して実施されました。南会津農林事務所長から南会津町長へ林道移管通知が手渡され、南会津町長の式辞、南会津農林事務所長の祝辞の後に工事施工者である(株)星組から記念樹としてオオヤマザクラ五本が地元和泉田地区へ贈呈されました。

た。この記念樹は一〇月三〇日の記念行事で植栽しています。

○完成記念行事「林道富沢不動沢線、河原崎城跡遊歩道散策」

完成記念行事として、富沢不動沢線と、森林環境税を活用した里山整備事業により整備し、同時期に完成した河原崎城跡遊歩道を歩くイベントが一〇月三〇日(土)に開催されました。

当日はあいにくの雨天にもかかわらず地元和泉田地区の住民を中心に七九名が参加し、河原崎城跡遊歩道の散策と、完成式で贈呈されていたオオヤマザクラ五本の記念植樹を実施しました。残念ながら林道富沢不動沢線の散策はできませんでしたが、参加者は記念植樹と乗車したバスから見学することにより林道の完成を実感していたようです。

○おわりに

地区住民が本林道の開通を心から歓迎し、地区主体でこのような本林道開通記念イベントが実施されたことは大変喜ばしいことです。今後は森林整備はもとより、この豊かな緑を生かした地域づくりに活用されることが期待されます。

最後に、本林道開設に携わられた多くの方々に深く敬意を表し、工事完成の報告とさせていただきます。



完成式出席者



河原崎城跡遊歩道散策イベントの参加者



オオヤマザクラの記念植樹

福島空港公園における森林環境ゼミナール

■県中農林事務所

森林環境基金事業の取組みも今年で5年目を迎え、ここ県中地方においても「県民一人一人が参画する新たな森林づくり」は着実に進んでいます。

森林環境ゼミナールは、この取組みの一環として各流域毎に毎年開催されていますが、今回は阿武隈川流域での実施状況についてご紹介します。

11月7日、穏やかな秋晴れのもと、福島県の空の玄関口である福島空港に隣接する「福島空港公園緑のスポーツエリア」を会場に、約70名の方々とともに森林の役割や森林づくりの大切さを学びました。

午前中は、(財)ふくしまフォレスト・エコ・ライフの弦間一郎さんを講師に迎え、森林における生物多様性の大切さや福島市蓬萊団地周辺にある里山林での活動事例についてお話をいただきました。

午後からは、もりの案内人の指導のもと、木の枝

を使った木工クラフトの体験や空港西側にある広葉樹林内での自然観察を行い、木工クラフトでは子ども達だけでなく大人達も真剣な眼差しで木工工作を楽しみ、自然観察では子ども達が興味深くもりの案内人の話を聴いていました。天候にも恵まれ、参加者の皆さまには楽しい一日を過ごしていただくとともに、僅かではありますが福島空港の賑わい創出にもつながったものと思います。

今回のイベントは、地元NPOや空港関係の方々に協力をいただきながら準備を進め、開催したものです。森林環境税のPRはまだ不十分との話も聞きますが、今後とも様々な方々と連携しながら、さらなるPRに努めていきたいと思えます。

(林業普及指導員 木村憲一郎)



森林についての講話



もりの案内人による自然観察

田人の山・光あふれる森づくり事業 ～除間伐木の利活用体験～

■いわき農林事務所

森林の持つ水源のかん養、地球温暖化防止などの多様な機能を維持向上させるため、森林整備の重要性を学ぶことを目的に、田人町を会場として、今年度に3回の体験交流会を田人林業研究会の全面的な協力により開催しました。

当事業には、3回とも参加できる人を条件に募集し、応募のあった36名の市民が参加しました。

第1回目は、6月6日(日)に四時川上流の伐採跡地へのスギ苗の植林作業と、ナラの短木ほだ木を用いたナメコ、ヒラタケの植菌作業を体験しました。参加者は、初めて使う唐鍬と慣れない植え付け作業に苦労し、木を植えることが大変なことや普段食べているきのこを作ることが簡単ではないことに驚いていました。

第2回目は、10月17日(日)に森林環境税関連施策PR事業とタイアップして、ヒノキ人工林での間伐作業を体験しました。間伐を行ったあと光が差し込んで林内が明るくなった様子に、間伐の必要性を理解していました。また、6月に植菌したほだ木に菌糸がしっかりと活着している様子を観察しました。さらに、地元との交流会では田人町の特産であるコンニャク

作りを体験し、手作りならではの味を楽しみました。第3回目は、11月28日(日)にきのこの植菌を体験したほだ木でヒラタケが発生している様子を観察し、収穫体験を行いました。

次に、木材の利用と加工についての講義のあと、除間伐作業で伐採したヒノキをクリスマスツリーとして利用し、田人ふれあい館周辺にツリーを10本設置しました。このツリーには、環境を考慮したLEDライトを参加者全員の手作業によって取付け、夕方には点灯式を行い、12月25日までクリスマスツリーのイルミネーションがスタートしました。色とりどりのライトが光るツリーは、田人の山全体に向けて光をあふれさせています。

また、田人ふれあい館を会場に開催されていた祭典「たびとほっこり祭」へも参加し地元との交流を図っていました。

今回の事業を通じて、参加者は「植林～森林の手入れ(除伐、間伐)～間伐した木の利活用」と、一連の作業を具体的に体験したことで森林の重要性について理解を深めていました。

(林業普及指導員 須田 勝彦)



ヒノキをLEDライトで装飾



参加者

木材市況

素材の価格〈工場着価格〉(9月15日現在)

(単位: m³当り千円)

区分	形量		材質	樹種	中通り地方		会津地方		浜通り地方		県平均		
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	
一般用材	小	5~9	4.00	並	スギ	8(8~8)	0	9(9~9)	0	7(5~9)	0	8(5~9)	0
		10~13		並	スギ	11(10~12)	1	9(8~9)	0	9(8~11)	0	9(8~12)	0
	中	14~18	3.00	並	スギ	13(12~15)	0	11(11~12)	0	12(11~13)	1	12(11~15)	0
				並	ヒノキ	19(17~22)	△1	(~)	-	17(16~18)	△1	18(16~22)	0
		6.00	並	スギ	18(17~20)	0	18(18~18)	0	16(16~16)	1	17(16~20)	0	
			並	ヒノキ	24(24~24)	0	(~)	-	24(21~27)	△1	24(21~27)	△1	
	20~28	3.65	並	スギ	13(12~15)	△1	12(11~12)	0	12(11~12)	1	12(11~15)	0	
		4.00	並	アカマツ	10(8~12)	0	10(10~10)	0	11(10~12)	1	10(8~12)	0	
		1.80	並		8(5~9)	0	(~)	-	8(7~9)	0	8(5~9)	0	
	外材	30以上	10.00	並	米ツガ	21(21~21)	0	(~)	-	24(24~25)	0	24(21~25)	0
並				米マツ	25(23~28)	0	26(26~26)	0	26(25~27)	0	26(23~28)	1	
28以下		4.00	並	エゾマツ	(~)	-	(~)	-	23(20~25)	0	23(20~25)	0	
			並	ベニマツ	27(27~27)	0	22(22~22)	0	21(21~21)	0	23(21~27)	0	
70~90		8~14	並	ラワン	(~)	-	(~)	-	(~)	-	(~)	-	
			並	アガチス	(~)	-	(~)	-	(~)	-	(~)	-	
パルプ用材	-	-	並	マツ	(~)	-	(~)	-	6(6~6)	0	6(6~6)	0	
			並	広葉樹	(~)	-	(~)	-	6(6~6)	0	6(6~6)	0	

八月の原木市場への入荷状況は、前月比四割減(前年比二八割増)の二〇、五六一立方メートルとなっている。販売量についても、前月比では六割減(前年比二三割増)の一九、七八一立方メートルとなっている。九月の価格については、保合である。

区分	形量		材質	樹種	会津共販		いわき	
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差
一般用材	12以下	4.00	並	カラマツ	8(7~8)	0	9(8~9)	0
	13~14		並	カラマツ	7(7~8)	0	8(7~9)	0
	16以上		並	カラマツ	11(10~12)	1	11(10~11)	0

注) 1. 前月差の△印は値下りを、*印は前月実績がなかったことを示す。
2. ()内は各地域の価格幅、()外は各地域の平均的価格を示す。
3. 一般用材カラマツは工場着価格ではなく、福島県森林組合連合会の会津共販所・いわき木材流通センターの素材市売価格を示す。



通りの赤玉とさるふる泉
ノキジャモンジャナン

街路樹にはケヤキなど馴染みのある樹種が使われていますが、いわき市には、これまで紹介したヤマモモやミツマタのように、あまり馴染みのない木が植栽されています。多くの人々が実物を見たのは初めてという珍木が、常磐線泉駅前「泉ふるさと赤玉通り」に街路樹として植栽されています。「ヒトツバタゴ」です。ヒトツバタゴはその昔、明治神宮外苑に名前のわからない大木があり、名前のわからない珍木ということ、「ナンジャモンジャノキ」と別名で呼ばれていた木として有名です。ヒトツバタゴは知らなくても、ナンジャモンジャノキなら聞いたことがある、という人も多いと思います。ナンジャモンジャは、「何というものか」の意味で、名前のわからない植物を



気になる木 (街路樹編その3)

いわき農林事務所森林林業部 林業課長 加藤正昭

呼んでいた言葉で、数種類の植物がこの名前と呼ばれているようですが、ヒトツバタゴをこの名で呼ぶことが最も多いそうです。

図鑑などによると、ヒトツバタゴはモクセイ科の一種で高さ二〇メートルになる落葉高木ですが、このヒトツバタゴは高さ五メートルです。雌雄異株ですが、雌花のみをつける株はなく、雄花をつける株と両性花をつける株があり、五月頃、新枝の先端に集散花序を円錐状に多数の白い花を咲かせるそうです。まるで雪をかぶったように、樹冠全体が純白の花で覆われている姿は、いわき市発行の「いわき百景」の一つに選ばれています。

また、希少種として環境省レッドリストの絶滅危惧Ⅱ類に指定されています。天然での分布域も狭く、日本では愛知県、岐阜県、対馬だけに自生し、国の天然記念物に指定されています。ぜひ来年は、「ナンジャモンジャノキ」の花を見に行きたいと思つています。

森連だより

不在村森林所有者を 対象とした「ふるさと 森林相談会」を開催

不在村森林所有者に対しダイレク
トメールを送付の上、直接会って、
間伐等の施業や森林管理の委託等の
働きかけを行う「ふるさと森林相談
会」をこれまでの三大都市圏(東京・
名古屋・大阪会場)開催に加え、平
成一九年度からは仙台、福岡、さら
に都道府県庁所在地等においても開
催されています。

平成二二年度は、一〇月二三日
(土)・二四日(日)の両日、福島県林
業研究センターにおいて開催された
『第二五回福島県林業祭』(福島県林
業祭実行委員会主催)の関連行事と
して『ふるさと森林相談会』(本会主
催)を開催し、福島県林業研究セン
ター研修寮において福島県下の一〇
森林組合と福島県森林組合連合会に
より、森林組合相談コーナーを開設
いたしました。

同じ会場内に、福島県司法書士会



との連携事業として司法書士相談
コーナーを開設し、司法書士による
相続や登記に関する無料相談会も開
催しました。

相談会では、一三人の来場者があ
り、所有山林の位置や現況の確認、
保育作業の依頼などの相談に応じま
した。



会場案内



相談の様子

森林組合では提案型施業集約化事
業に取り組んでいます。これは小規
模形態の私有林でも集約化(団地化)
することで、有利な森林整備を継続
して行くことにより、原木の安定供
給体制を図っていくことを目指して
おります。(ある区域の山林を一つの
エリアとして、その中の山林につい
て個別に、経費や収益の見積りをし
て森林所有者に提案し、エリア全体
の森林を整備することを目的として
います。そのためには、低コストで
将来にわたり壊れにくい作業路を開
設し、間伐材・パルプ材の搬出、山
林の維持管理を進めていくことが必
要となります。)山林の相続登記物件
の位置や境界がわからない場合、森
林の手入れもできず団地化も進みま



相談会スタッフ

せん。
県内の森林整備を進める上で『ふ
るさと森林相談会』を継続して開催
することが重要になります。
来年一月二八日(金)に東京都立産
業貿易センターで開催される相談会
も含め、これからも『ふるさと森林
相談会』や森林組合のことを広くP
Rし続けることが大事であると参加
者全員で再確認して相談会を終了し
ました。

木連だより

木材需要拡大に向け、
各種イベントへの参加



国産集成材のモデルルーム



木工工作コンクール作品見学中



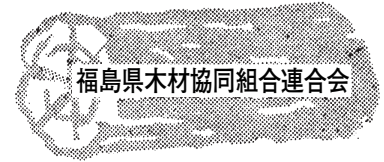
モデルルームの前でコースター製作



ハシ製作体験中

県木連では、国産材、特に県産材をPRすることを目的に、一〇月に開催された各種イベントに参加してきました。毎週県内各地の会場で県産材モデルルームを展示し、木工工作体験コーナーを設け、県内の皆様にも、実際に県産材に触れて、活用していただけるようPRを行いました。

一〇月二・三日にビッグパレットで行われた環境エネルギーフェアでは、藤寿産業製作の国産集成材のモデルルームを展示しました。「こんな部屋が一室ほしい」「格子の壁と引き戸が面白い」と大変好評でした!!
また、福島県建具・木工組合連合会の皆様のご協力により、木組みコースターの製作体験コーナーを設け、大人から三歳のお子様までたくさんの人々に製作体験していただきました。



環境フェアでは、木工工作コンクールの授賞式が行われ、作品も展示しました。木で作られた恐竜やタコ、シーラカンス等の作品を見た人々は、「どうやって作ったのか」と感心していました。

〜ごちそうふくしま
満喫フェア2010〜

一〇月一〇、一一日にビッグパレットにて行われたごちそうふくしま満喫フェアでは、環境フェアに引き続き、国産集成材のモデルルームを展示しました。

また、前回に引き続き、木組みコースターの製作体験コーナーを設け、ご年配の方から小さなお子様まで、木組み木工を楽しんでもらいました!中には一時間ほど順番を待っている人もいて、モデルルーム前の人であふれていました。木の良さを、訪れた方々におおいにPRできたいと思います!!

両イベントともに中腰でご指導下さった建具・木工組合連合会の皆様に厚く御礼申し上げます!!

〜会津ブランド
ものづくりフェア2010〜

三〇、三十一日にあいづドームで行われた、会津ブランドものづくりフェアでは、木組み住宅の骨組み模型と原寸大の三種類の継ぎ手を展示しました。

合わせて、ひのき材でハシづくりを体験してもらおう製作体験コーナーを設け、多くの人々に楽しんでいただきました。カンナを初めて扱う子どもも多く、最初はなかなかうまく削れない様子でしたが、どの子もハシが形になる頃には見事なカンナ屑を作り出せていました!

今回県木連では、初めての会津のイベント参加でしたが、会津の皆様にご好評いただいた様子でホッといたしました。また次の機会があれば会津やほかの地域のイベントに行きたいと思っております!!

毎週のようにイベントに参加して、多くの方々が県産材に親しみと強い関心を持たれている様子を直に感じる事ができました。なにより、子ども達が真剣に木工工作に取り組み姿に、明るい未来が垣間見えた感じがします。これからも県産材・国産材の魅力を伝えていきたいと思っております!!

林協ニュース

平成22年度
全国林業普及
研修大会開催



記念講演 相川高信氏

去る十一月二十五日(木)、東京都千代田区永田町、全国町村会館にて「平成二二年度全国林業普及及研修大会」が(社)全国林業改良普及協会、全国林業普及指導員協議会、全国林業研究グループ連絡協議会の主催により開催されました。

この研修大会は、我が国の森林整備の推進と林業の持続的な発展を図るため、今日の課題に対した知識や技術を現場に普及させていく林業普及事業の関係者が、一丸となって積極的な運動を展開していくという趣旨のものでした。

はじめに宮島義和全国林業普及指導員協議会長による開会のことば、西場信行(社)全国林業改良普及協会長のあいさつがありました。

続いて、「先進国型林業の法則を探る―日本林業成長へのマネジメンター」の著者である、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社副主任研究員相川高信氏により「先進国型林業に向けた専門家の役割」と題した記念講演がありました。

そして、平成二二年度全国林業シンポジウム林野庁長官賞を受賞した岐阜県林政部森林整備課藤下定幸技



術課長補佐(前職・中濃農林事務所技術課長補佐)による「中濃森プロの取組み」健全で豊かな森林づくり」平成二二年度全国林研グループコンクール農林水産大臣賞を受賞した佐賀市婦人林業研究会の西要子さんによる「ふるさとの山に感謝と誇りを持って」の活動発表がありました。

その後、増田義明林野庁普及教育班長により、最近の林政を巡る状況

平成二二年度

治山・林道コンクール入賞者

(社)日本治山治水協会及び日本林道協会主催の平成二二年度治山・林道コンクールの入賞者が決まり、一月一六日、東京都のルポール麹町において、日本林道協会創立六〇周年記念式典及び表彰式が行われました。本県関係の受賞者は、次のとおりです。

○第二六回民有林治山工事コンクール
(社)日本治山治水協会会長賞
大富士建工業株式会社(代表取締役 酒井秀明)

復旧治山事業 帝釈山地区

○第一一回民有林治山木材使用工事

説明があり、続いて田爪弥栄全国林業研究グループ連絡協議会長により「我々関係者が一致協力して森林・林業・山村の未来を切り開いて行くことが重要であり、重大な決意を持って、期待される使命達成に向けて全力を尽くすことをここに宣言する」と大会宣言がありました。
倉下勝彦全国林業普及指導員協議会副会長の閉会のことばで研修大会は終了しました。

長賞
コンクール (社)日本治山治水協会
長賞
県南農林事務所森林林業部森林土木課
山地災害総合減災対策治山事業
戸倉地区

○平成二二年度林道維持管理コンクール 日本林道協会会長賞
伊達市長 仁志田昇司
七ツ森線

○第一一回民有林道木材使用工事
コンクール 日本林道協会会長賞
西会津町建設水道課 鈴木利博
岩井沢橋ノ木平線新設(改築)工事

二〇二〇年主要目次

No.545
〜
556

◎とびら

一月号 「人がほほえみ、地域が輝く」ほっとする、ふくしま」を
目指して―県知事 佐藤雄平／二月
号 高性能林業機械を活用して森林
づくり―有会社六和林業 代表取
締役 渡部源一／三月号 県林業研
究グループ等活動発表会 知事賞を
受賞して―田人林業研究会 緑川平
隆／四月号 平成二二年度予算の概
要について―福島県農林水産部長
鈴木義仁／五月号 就任のごあいさ
つ―福島県農林水産部技監 飯東昭
三／六月号 緑化功労者表彰を受け
て―NPO法人いわきの森に親しむ
会代表 松崎和敬／七月号 木質
チップボイラーの導入で地産地消型
エネルギーの推進!!―川内村長 遠
藤雄幸／八月号 林業・木材製造業
労働災害防止協会福島支部長に選
任されて―林材業労働災害防止協会
福島県支部長 早川英二／九月号
就任のごあいさつ―福島森林管理署
長 中山浩次／一〇月号 当行の環
境保全活動について―株式会社 東
邦銀行／一一月号 福島県林業コン
クール森林管理間伐部門 福島県知
事賞を受賞して―矢祭町 藤田睦介

◎主な記事

一月号 森林環境基金事業を展開
しています／二月号 山火事を防止

しょうく消さないで小さな命の帰る
場所・林業労働力確保支援センタ
ーだより 豊かな森林・林業を守るた
めに・林業労働力確保育成優良事業
体選定表彰 田村森林組合が全国森
林組合連合会長賞／三月号 平成二
一年度林業普及指導員全体研修会開
かれる・県林業研究グループ等活動
発表会開かれる／四月号 今年の県
林業予算／五月号 ふくしま森林文
化企画展のご案内・森林環境税を財
源とした森林づくり 森林環境基金
事業の概要／六月号 小さな芽 届
け未来へ 緑の力・福島県優良建設
工事表彰・新たなブランド「いわき
ゴールドしいたけ」誕生／七月号
ふくしま森林文化企画展始まる・治
山百年を迎えて／八月号 福島県治
山林道研究発表会開かれる・第三七
回福島県緑の少年団大会開催・林業
金融制度について・緑の基金でふせ
ごう地球温暖化／九月号 東北・北
海道プロック林業グループコンクール
開催・高性能林業機械の活用事例・
高性能林業機械を活用した新しい施
業システム／一〇月号 農家レスト
ランを訪ねて・ふくしま森林文化企
画展を開催しました・ごちそう ふ
くしま絆づくり運動について・森の
名手名人 吉田さんと武藤さんが選
定される／一一月号 福島県森林林
業振興大会開かれる・第三五回福島

県林業祭開催!!／一二月号 第八回
うつくしま育樹祭開かれる・県内に
おける木質バイオマス利用の取組に
ついて・県産木材を使った家づくり
がよく分かる体験ツアー行われる

◎林業研究センターだより

一月号 県産スギ材の座屈強度／
三月号 強度な間伐によるスギ人工
林の混交林化／五月号 最近の林業
研究センターの試験研究／七月号
木造住宅の柱の仕口接合の込み栓利
用について／九月号 只今、こんな
花粉症対策にも取り組んでいます／
一一月号 複数のきのこを組み合わ
せた自然栽培方法について

◎森林文化シリーズ

一月号 門松のこと／二月号 漆
樹礼賛(その二)／三月号 あんぽ
柿のふるさと見聞記／八月号 只見
町の二次林／九月号 ブナと只見町

◎山村を支える林道事業

二月号 ふるさと林道 岡部前乗
線／六月号 青坂芝倉線／八月号
森林基幹道 永井川前線／一〇月号
戸渡藤沼線／一二月号 富沢不動沢
線

◎普及指導員通信

一月号 富岡・南会津／二月号
県南・相双／三月号 県北・会津／
四月号 県中・いわき／五月号 南
会津・富岡／六月号 県南・相双／

七月号 県北・会津／八月号 県中・
いわき／九月号 南会津・富岡／一
〇月号 県南・相双／一一月号 県
北・会津／一二月号 県中・いわき

◎ふくしま東西南北

一月号 伊達市月舘町、最登山の
三等三角点(県北)／二月号 相双
ビューローって何?(相双)／三月
号 山の幸・山の神(会津)／四月
号 郡山市の公園事情(県中)／五月
号 気になる木(街路樹編その二)
(いわき)／六月号 南会津の車窓
から(南会津)／七月号 炎天下
と豚汁と私(県南)／八月号 見え
てきた県産材の活用推進策(県北)
／九月号 やつてみませんかパーク
ゴルフ(相双)／一〇月号 ためして
ガッテン「こづゆ」づくり(会津)
／一一月号 布引風の高原(県中)
／一二月号 気になる木(街路樹編
その三)(いわき)

◎団体のページ

森連だより 三、五、六、九、一
一、二二月号／木連だより 一、四、
五、八、一〇、一二月号／公社だよ
り 一、七月号／福島水源林整備事
務所だより 二、五、八、一一月号
／森林管理署メモ 一、四、六、一
〇月号／緑の少年団コーナー 一、
四、七、一〇月号／苗協メモ 一一
月号／林協ニュース 三、六、九、
一一、一二月号／林研コーナー 二、
五月号

表紙の横顔



里山の秋

第7回ふくしま森林・林業写真コンクールで入選となった水谷洋志さん(南会津町)の作品。



郡山の師走の風物詩

師走を間近に控えた十一月下旬、郡山駅前ビッグクリスマスツリーがお目見えした。十数年前まで開成山公園を賑わせた大規模なクリスマスツリーが予算難などから中止され、代わって郡山駅西口広場に樹木などを利用した電飾として復活して一〇年近くなる。すっかり郡山の師走の風物詩として定着したビッグツリーを心待ちしている人が多いため、今年は郡山商工会議所などによる実行委員会が、『ビッグツリーページェント・フェスタ in KORIYAMA』として設置し、来年一月末まで楽しめる。

商都と言われる郡山市の顔でもある駅前のビッグクリスマスツリーは、駅利用者や市民からも大変好評で、年の瀬が深まるにつれ家族連れや写真愛好家で賑わう様になる。ところで、市内の商店や会社、一般家庭にもクリスマス飾りが普及し、不況風を感じさせないが、好景気への願いが込められ、色彩がますます派手になり、規模も大型化している。

古い事で恐縮だが、かつてクリスマススイブに赤いトンガリ帽でネオン街に繰り出すのが流行した。最近では繁華街を肩を組んでかつ歩する集団は見られず、ネオン街が静かに見える。

知人の酒店主によると日本酒を箱単位で注文されるのは珍しくなったそうで、老人会や子供会が行う廃品回収でも一升瓶に代わり、缶ビールの空き缶が多くなった。この様な現象からも核家族化が一段と進み、人を招いての酒宴は衰退の傾向にあることが伺える。

私の町内会の懇親会でも生ビールが準備され、酒はお印程度になったので、日本酒党はビール党に早変わりし、本当は酒の方が旨いのだがと言いながら生ビールを注いでいる。

我が家にクリスマスケーキやシャンパンが登場したのは子供が成人してからで、孫ができてからは洋風化が一段と進んでいる。私はクリスマスなど異国の文化を好まず、商業ベースに乗せられる日本人を苦々しく思ってきたが、外国との交流が盛んになり、国際化が進むなかで、日本の良き風習の衰退に危機感を持っている。特に、日本人に日本人の心が失われはしないかと気になるが、私の考え方は時代に逆行しているのだろうか？

佐藤微風

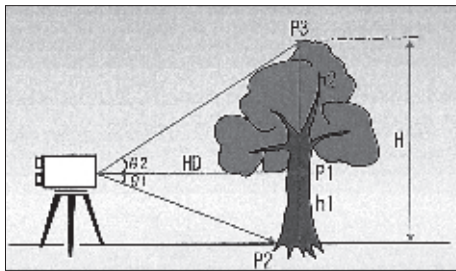
編集

発行人

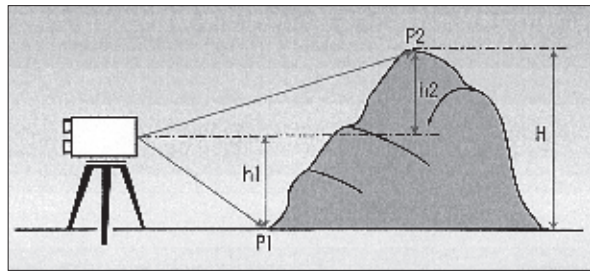
福島県内四森林管理署
福島県林業協会
福島県森林組合連合会
福島県木材協同組合連合会
福島県緑化推進委員会
福島県農林種苗農業協同組合
福島県林業公社
森林総合研究所福島水源林整備事務所
福島県中町五番一八号県林業協会(会館内)
渡辺卓
陽光社印刷株式会社
(定価 六三円)

高さ測定

1. 樹木の様に比較的まっすぐな場合

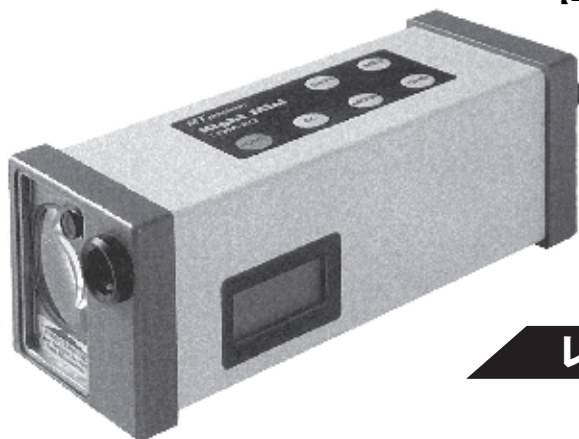


2. 堆積物等の山なり形状の場合



【LDM-20 仕様】

測距範囲	反射板 無30m 有300m
測距精度	± 5 mm
傾斜センサー分析能	0.1
測定	高さ・水平距離・斜距離
寸法	W64・H64・D180
重量	650 g
付属品	ソフトケース・反射板・取説 RS232Cケーブル・EXCEL取込ソフト



LDM-20

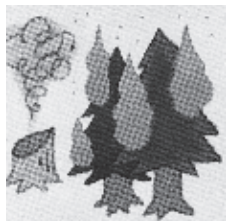
レーザーハイトセンサー「ハイト mini」

株式会社 福島測機

福島市渡利山ノ下前37-2 TEL024-523-1706 FAX024-523-1704

備えのパートナー 森林国営保険

こんな災害からあなたの山を守ります。



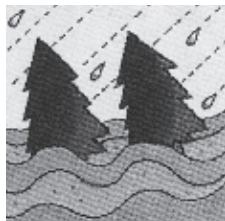
1 火災

山火事で受けた損害



2 風害

暴風による根返り、幹折れなどの損害



3 水害

豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害



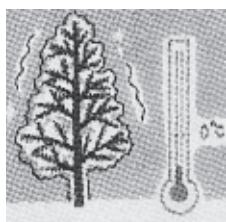
4 雪害

大量積雪による幹折れ、根返りなどの損害



5 干害

乾燥による枯死などの損害



6 凍害

凍結、寒風などによる枯死などの損害



7 潮害

潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害



8 噴火災

火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

《ご相談・お申し込みは》

◆森林組合

◆森林組合連合会

福島県農林水産部森林整備課

☎ 024-521-7430

イワフジのプロセッサ

GP-35V プロセッサ

IWAFUJI
INDUSTRIAL CO., LTD.

シンプルと耐久性を迫及したプロセッサ



Simple Processor
MODEL : GP-35V



- 高耐久性を迫及したフレームとトンク
- 大容量ソーモータの採用による優れた切断力
- カッタ押し付けはシンプルなスプリング式
- 手元のノブスイッチで全ての操作が可能
- 強力な油圧モータおよび保持力によるパワフルな送材力
- 大きなトンクによる効率的なグラブ作業
- 高速コンピュータ GP-7 による精度の高い安定した測尺
- 皮剥けを防止するガイドローラ付トンク

ランニングコストに優れたシンプルプロセッサ

林業機械の総合メーカー

- ・ハーベスタシリーズ
- ・グラブリングシリーズ
- ・スイングヤーダシリーズ
- ・木寄せウインチシリーズ
- ・フォワーダシリーズ
- ・プロセッサシリーズ
- ・ラジキャリーシリーズ



イワフジ工業株式会社

北関東支店 〒969-1149 福島県本宮市本宮万世11-7
TEL 0243-34-5440 FAX 0243-34-5442

イワフジが開催する「高性能林業機械のメンテナンス研修」受講生募集中!
詳しくは当社ホームページをご覧ください www.iwafuji.co.jp



豊かな緑を次代へ

自然との調和

私達は、地球的視野に立ち、つねに進取の精神をもって、時代に挑戦します。

皆様のご要望にお応えする、環境との調和を図る製品やタイムリーな情報を提供し、全国から厚い信頼をいただいております。

野生動物から大切な植栽木を守る

ツリーセーブ
ヤシマレント

盗みされ防止

ハチノックL (網隠し)
ハチノックS (携帯用)

**大切な日本の松を守る
ヤシマの林業薬剤**

ヤシマスマイバイン乳剤
ヤシマスマイバインMC
グリーンガードエイト
パークサイドF
ヤシマNCS
モリエートSC
マツグリーン液剤2

くん蒸用生分解性シート

ちゆらシート (茶・白)
NCSシート (透明)
与作シート (茶・白)
(折りたたみ式
専用キャリアバック使用)



ヤシマ産業株式会社

本社 〒104-0045 東京都中央区築地1丁目9-6 アロア築地ビル2F
東北営業所 〒981-3133 仙台市泉区泉中央3-10-3-202

TEL.03-5565-3161(代) FAX.03-5565-3164
TEL.022-771-6681 FAX.022-771-6682

効率良く快適に! 手持ち作業から大型作業まで充実のラインナップ。

機器はゼノアから

排気量 **18.3cm³**
世界最小・最軽量、2.2kgの手のひらサイズ



G2000T 

20cm(8インチ)・SP ¥66,675(税込)
20cm(8インチ)・CV ¥72,765(税込)

排気量 **40.1cm³**
さまざまな用途に対応、本格プロ仕様シリーズ



G4211EZ 

40cm(16インチ)・SP ¥135,660(税込)
45cm(18インチ)・SP ¥137,865(税込)
40cm(16インチ)・H ¥135,660(税込)
45cm(18インチ)・H ¥137,865(税込)

使いやすさを
追求したハンドルと
思いのアクセルワークが
可能なトリガーレバー。



BC2711DW1-EZ

・防振ハンドルブラケット
・トリガーレバータイプ
チップソー ¥79,380(税込)
笹刈刃 ¥78,330(税込)

ハスクバーナー・ゼノア(株)福島県代理店
(有)うねめ林業機械

TEL(024)952-2657・FAX(024)951-7775 〒963-0211 郡山市片平町字新蟻塚108の1